

令和6年度 決算のお知らせ

7月15日(火)に開催されました第186回組合会において、令和6年度の決算が可決承認されましたのでその概要をお知らせします。

令和6年度 決算のポイント

保険料収入の減収により 赤字決算に

決算概要

みなさんと事業主から納めていただいた保険料収入は、被保険者数及び賞与額の減少等の影響により、前年度より7億7,689万5千円減収の19億1,597万4千円となりました。

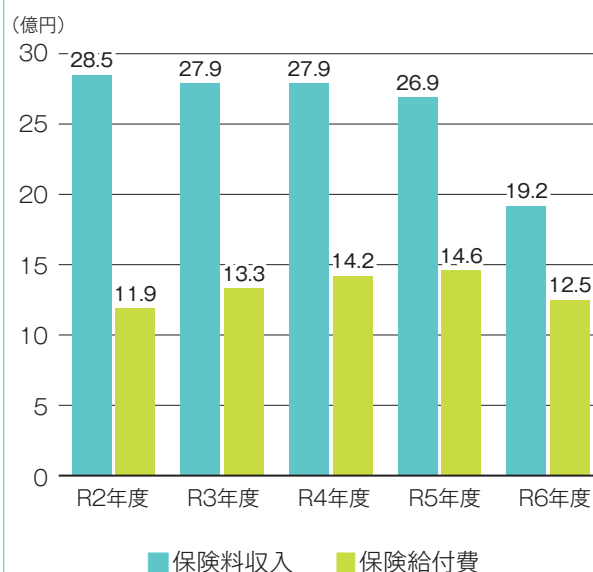
支出では、みなさんの医療費などにあてられる保険給付費は前年度より2億1,592万円減少の12億4,792万5千円となりました。

高齢者の医療を支えるために支出する納付金については、前年度より8,789万8千円減少の7億2,156万5千円の抛出となりました。内訳としては、前期高齢者納付金が623万7千円減少の1億2,021万6千円、後期高齢者支援金は8,166万円減少の6億134万9千円でした。

みなさんの健康づくりをバックアップする保健事業費については事業内容の見直しを徹底し、大切な保険料の有効活用に努めた結果、1億7,511万5千円の支出となりました。

令和6年度は、支出全体が抑制されたものの保険料収入が激減しました。そのため、収支差引額は7億966万1千円の黒字となったものの、財政の健全性を示す経常収支差引額においては2億7,293万8千円の赤字決算となりました。

当健保組合の保険料収入・保険給付費の推移



健康保険組合を取り巻く状況

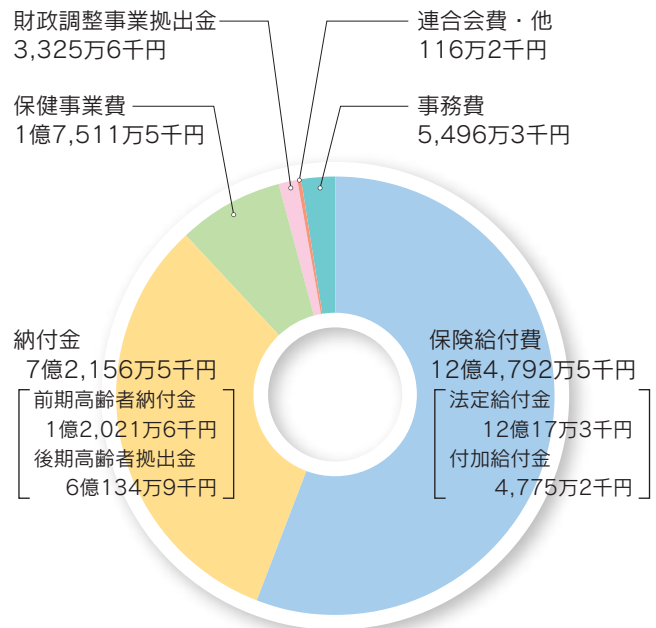
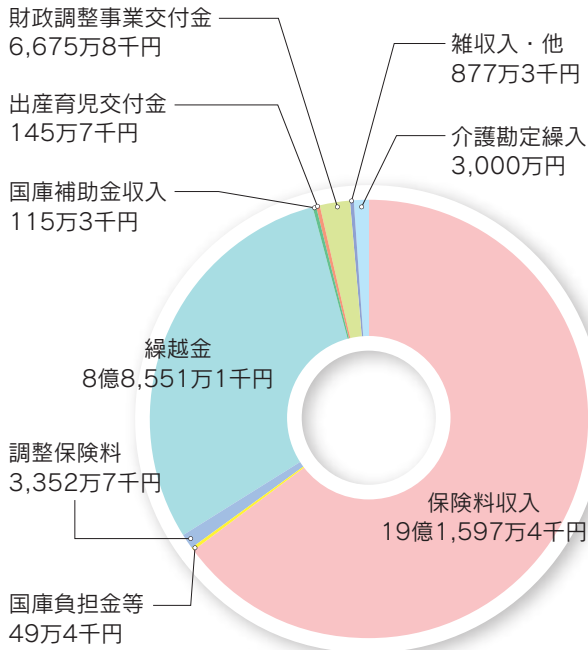
健康保険組合連合会が公表した「令和7年度 健康保険組合 予算編成状況—予算早期集計結果について—」によると、健保組合全体の経常収入は9兆3,936億円、経常支出は9兆7,717億円で、経常収支差引額では3,782億円の赤字となり、全体の約8割にあたる1,043組合が赤字予算を計上していることがわかりました。

とりわけ高齢者抛出金の負担は重く、義務的経費に占める抛出金負担の割合は、4割を超える状況が続いています。今後も高齢者の増加、現役世代の減少は続くため、抛出金の負担増は必至であり、よりいっそうの財政悪化が懸念されるところです。

健康保険組合としましては、事業の効率化を図るとともに、みなさんの健康増進施策に力を注いでまいります。みなさんにおかれましては、各種検診などの保健事業を積極的に活用し、健康の維持・増進にお役立ていただくとともに、適正受診をこころがけ、医療費の削減にご協力いただきますようお願いいたします。

収入合計 29億4,364万7千円

支出合計 22億3,398万6千円



令和6年度 決算額

収入合計	29億4,364万7千円
支出合計	22億3,398万6千円
収入支出差引額	7億966万1千円
經常収支差引額	▲2億7,293万8千円

健康保険



決算基礎数値

●被保険者数(3月末)	2,557人
男性	1,743人
女性	814人
●平均年齢	46.82歳
男性	47.61歳
女性	44.85歳
●被扶養者数	2,791人
●前期高齢者加入率	0.481277%
●保険料率(調整保険料率含む)	83.00/1000
(事業主51/1000 被保険者32/1000)	

介護保険



決算基礎数値

- 介護保険第2号被保険者たる被保険者数(3月末)
1,827人
- 介護保険料率(事業主・被保険者折半)
20.00/1000
(事業主10.00/1000 被保険者10.00/1000)

決算の概要

(単位:千円)

	科目	決算額
収入	介護保険収入	371,628
	繰越金	62,784
	一般勘定受入	2,000
	合計	436,412
支出	介護納付金	402,618
	還付金	10
	一般勘定繰入	30,000
	合計	432,628